とんぼりニュース

2018年 10月号 Vol.156
2018年 9月26日 発行

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp
道頓堀商店会事務局
〒542-0071大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542　FAX.06-6211-9764
発行人：上山 勝也

道頓堀リバーフェスティバル（10/13~14） 10月13日(土)、「道頓堀川面舞台」を開催します。

4回目を迎える「道頓堀川面舞台」は、道頓堀のより身近なところで観ていただきたいと、相合橋上にステージを組んで開催します。ミナミ・道頓堀で生まれ育った芸能を地元の人たちにも、そして外国からの旅行者にも知っていただこうと、さまざまなプログラムを企画しています。秋のタベのひととき、ご家族、お友達と連れ立って、ゆるりとお楽しみください。

プログラム

会場：道頓堀相合橋・特設ステージ
時間：16:00～ 観覧無料

16:00～ 文楽「文楽の楽しみ方」吉田和生（文楽人形遣い）
17:30～ GOTTAプレミアムショー GOTTAオールスターズ
18:00～ 浪曲「刃傷松の廊下」真山隼人・沢村さくら（曲師）
18:30～ 講談「坂本竜馬と勝海舟」 旭堂南春
19:00～ ミニレビュー　OSK日本歌劇団
朔矢しゅう・椿りょう・雪妃詩
19:30～ 日本舞踊「南地大和屋へらへら踊り」ほか
上方舞山村流宗家　山村友五郎

総合司会　桂 吉坊

万博PRオブジェを大阪市役所前に設置。

いっとこミナミ実行委員会では、7月14日から8月31日まで戎橋上に設置していました「大阪万博2025」PRオブジェを大阪市役所本庁舎前に移設しました。今後は、11月23日（金）の万博開催地決定まで、大阪万博をPRする予定です。

この握りこぶしのオブジェは、高さ約3m、幅約2m、奥行き約1.8mの鉄の彫刻で、表面には「EXPO2025」と表記されたパネルがついています。道頓堀のにぎやかな場所にあった時とはまた違って、市役所前の花崗岩に囲まれた静寂な空間に堂々と、その存在感をアピールしています。市役所を訪れた多くの人々に「握りこぶし」前で記念写真を撮り、どしどしSNS発信し、「大阪万博2025」を世界中にアピールしていただきたいものです。

淀屋橋にお出かけの時には、ぜひ大阪市役所にお立ち寄りください。

10月9日(火)～22日(月) 御堂筋で社会実験が行われます。

今回の実験は、御堂筋の道頓堀橋北詰から千日前通の間で、東側側道の閉鎖による車線減少にともなう交通への影響をみることです。閉鎖された側道は、歩行者・自転車道として活用される他、荷さばきに関する運用についても確認されます。当商店街としては、西側玄関口に当たる重要な場所で、観劇、飲食のための来街者や沿道周辺店舗の荷物搬出入の影響も大きいものがあります。また商店街内の違法駐輪の増加も懸念され、今回の社会実験の推移を注意深く見守る必要があります。9月末に社会実験広報ビラを各店舗に配布しますので、詳しいことはそちらをご覧ください。

2019年6月28・29日、G20大阪サミット開催!!

道頓堀 presents フードミュージカル ゴッタ GOTTAの見どころ

たこ焼き乃丞役　志水博昭

このたび、道頓堀商店会の「とんぼりニュース」でGOTTAのPRをさせていただけることになりました。

まず、初回は私、「たこ焼き乃丞」を演じます志水博昭が、この「GOTTA」の見どころを書かせていただきます。

「たこ焼き乃丞」の見どころは、プロジェクションマッピングとの立ち回り！動く映像に合わせて槍ならぬ、たこ焼き用の「千枚通し」で大立ち回りをしております。

これがなかなか難しいのでございます。

うまく決まったときは、見得を切りますので「粉もん屋っ！」の大向こうをお願いいたします。

まだまだ日々進化中のGOTTA、皆様もぜひ進化を体験しにいらしてください。

10・11月の興行ご案内……

大阪松竹座

十月大歌舞伎 市川右之助改め 二代目 市川齊入 市川右近改め 三代目 市川右團次 襲名披露

○昼の部　三代猿之助四十八撰の内
一、華果西遊記（かかさいゆうき）
二、二代目市川齊入　三代目市川右團次 襲名披露 口上
三、神明恵和合取組（かみのめぐみわごうのとりくみ）
め組の喧嘩（品川島崎楼より神明末社裏まで）
四、玉屋清七（たまやせいしち）　團十郎花火
○夜の部　三代猿之助四十八撰の内
通し狂言 雙生隅田川（ふたごすみだかわ）
市川猿之助　市川右團次　市川右近　宙乗り相勤め申し候
出演：坂田藤十郎　中村雀右衛門　中村鴈治郎　市川猿之助　市川海老蔵
日時：10月2日(火)～26日(金)
昼の部11時～　夜の部16時30分～
料金：一等席 19000円
二等席10000円
三等席　6000円

11月新派特別公演　犬神家の一族

日本ミステリー史上最大の人気作「犬神家の一族」が新派130年に登場！遺産相続をめぐり、巻き起こる骨肉の争い…。過去と現在に張り巡らされた謎に、名探偵・金田一耕助が挑む!!

原作：横溝正史　脚色・演出：齋藤雅文
出演：水谷八重子　波乃久里子　瀬戸摩純　河合雪之丞　浜中文
春本由香／河合宥季（交互出演）喜多村緑郎　田口守　佐藤B作
日時：11月1日(木)～10日(土)　午前の部11時～　午後の部15時30分～
（1・5・7・10日は午前の部のみ／3日午前の部　6日午後の部は貸切）
料金：一等席12000円
二等席　7000円
三等席　4000円
お問合せ：チケットホン松竹
0570-1000-489

道頓堀ZAZA

道頓堀SUPER歌謡劇場 ～心に響く!!昭和の流行歌～

10月16日(火)13時～・16時30分～
（各公演で一部歌唱内容が変わる場合があります）
出演：中村泰士（プロデュース）Mr.マサヒロ
チョ・ジョンミン　沢井明　おおい大輔
料金：2500円
お問合せ：090-1588-6590
（道頓堀 SUPER 歌謡劇場実行委員会）

法善寺寄席

10月16日(火)　15時～【一部】彩り演芸席～神無月の席～
出演：三吾美ユル〈親娘漫才〉喜味家たまご〈女道楽〉
林家愛染〈落語〉　さかいし〈漫才〉
料金：前売2000円　当日2500円
19時～【二部】宮崎げんき・暁輝晶 二人会『刀両断』(3/1)
出演：宮崎げんき　暁輝晶　さかいし
料金：前売2000円　当日2500円
お問合せ：関西演芸協会 06-6622-7848
（留守番電話にお入れください）
kansaiengeikyoukai@yahoo.co.jp

◆ミナミべっぴんぷろじぇくと

もはや秋の恒例行事！年末にかけミナミを訪れる多くのお客さんを心からお出迎えすべく、ひと足早い大そうじを一斉に行います。

今年もみんなでミナミのまちをべっぴんにするでぇ！

日時：10月20日(土)9時30分～（雨天中止）
集合場所：かに道楽本店裏
（とんぼりリバーウォーク）
清掃場所：御堂筋周辺・とんぼりリバーウォーク・千日前通り・長堀通り
（道頓堀商店会参加者の清掃場所は、とんぼりリバーウォークです）

2018年 10月の行事予定

12(金) 四商店会合同パトロール（予定）
17時～ 戎橋交番前
13(土)～14(日) 道頓堀リバーフェスティバル2018
11時～ とんぼりリバーウォーク
17(水) 宝恵駕振興会　第1回会議
13時30分～ 今宮戎神社
19(金) ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会連絡会議
14時～ 南署
ミナミ歓楽街環境浄化合同パトロール
20(土) ミナミべっぴんぷろじぇくと2018
9時30分～ とんぼりリバーウォーク
23(火) とんぼりリバーウォーク賑わい創出連絡会
10時～ スポタカ
24(水) 10月度定例役員会
14時～ 事務局
26(金) 四商店会合同パトロール（予定）
17時～ 戎橋交番前

時の人・インタビュー

ミナミの街は切なくて、たくましい。

「道頓堀盆おどり」でも素晴らしいステージングを見せてくれました。大西ユカリさんといえば「新世界」のイメージがありますが、ミナミの街ともご縁が深いのです。音楽に対して真摯でパワフル。そして暖かい。「大阪のおばちゃんですよ、ポイントカード大好きですし」どこまでも明るく、力強く、変わりゆくミナミの街を見つめるその眼差しは優しいのです。

（聞き手：中田真弥子）

——音楽を始められたきっかけは？

小さい頃からピアノをやっていた、ということではなくて、中学くらいから。シャネルズが好きで徐々にブラックミュージックやソウルミュージックに興味をもつようになり、バンド活動をしたりしてました。でも将来、歌手になろうという気持ちは全然なかった。そのうち、好きなバンドを手伝うようになって、イベンターとして裏方で音楽と関わっていました。

変わったのはその好きなバンドが解散するという時。彼らの音楽が失われてしまうのは惜しくて、自分で舞台に立つようになりました。

——そこからあの『大西ユカリと新世界』が生まれたわけですね。

通天閣歌謡劇場に出ていました、住まいも新世界でしたから。新世界の「だるま」では上山会長や赤井英和さんらとよく飲んでいましたね。

通天閣劇場が閉鎖になって、本当に仕事がゼロになった時期があったんですよ。「何かせな！」と近くのデイケアセンターで週3回、1年間くらいバイトをしていました。利用者さんはあんまり気付かないですけど、ご家族の方にはびっくりされたりしましたね（笑）

その後、ラジオの仕事をさせていただけるようになって、忙しくなって辞めたんですが。「お年寄りは水分補給も大事だけど、部屋の温度も見てあげて。エアコン掛かってると思ったら暖房やったりするから……」なんて話をラジオでできたりするのですから、人生に無駄ってないなと……。

▲デイケアの利用者さんが描いた大西さんの似顔絵。

▲「道頓堀盆おどり」で赤井さんとデュエットを披露。

——昭和歌謡のイメージが強い大西さんですが、ポンチャック（韓国の大衆音楽。ポンチャック・ディスコとも）など、様々なジャンルを取り入れていらっしゃるのですね。

もう韓国でも誰も聞いてないよ、なんて言われたりしたんですが、これはやるべきだと。

ただ、ソウルにしてもポンチャックにしても突き詰めていくと、深く深くなってくる。そうすると、置いていかれる人が出てくるんですよね。

私は誰も置いていきたくない。だから、音楽的に取り入れた上で、日本語で、自分の身の丈にあった、大西ユカリのスタイルを貫きたいと思っています。

——今でも週に2、3回はスタジオで練習をされるのだとか。

鏡の前に立って、自分の出で立ち、佇まいを見て練習をしています。そうしないとバンドにも負けてしまう。

これはずっと言ってるんですけど、「紅白」に出たいんです。そのためにはちゃんと練習はしないと。努力せずに「やっぱりあかんかったな」なんて思って死にたくない。そういう欲を持ち続けていかないと。

練習して悪いことなんか一つもないですからね！

——大西ユカリさんにとってのミナミとはどんな街ですか？

若い頃はなんばシティの「タケオキクチ」で働いていました。でも服屋さんって自分でも服を買わないといけないからあまりお金にならない。仕事が終わったら、太左衛門橋の南詰にあった電話喫茶に行って……知りません？席につずつ電話が付いていて、その頃普及し始めた携帯を持っている友達に電話を掛けたりして時間を潰して、その後ミナミのスナックにバイトに行く。私にとってのミナミは「よう働いたなー」っていう街です。

「盆おどり」のステージも水と風があって「THEミナミ」な景色ですよね。

ミナミがゴジラなら、キタはメカゴジラ。随分と景色は変わったけれど、ミナミの街は切なくてたくましい。

通りごとに色が違って、観光客も地元の人の街遊びも共存できる、そういう街だと思います。

▲「盆おどり」水上ステージでのライブ。

◆カバーアルバム「BLACK BOX」

初めて自らのルーツ・ミュージックであるR&B、ソウル、ブルース、ファンクを歌う。（テイチクレコード）

プロフィール

大西 ユカリ（おおにし・ゆかり）

1964年 大阪府富田林生まれ。
1986年 北米黒人ソウル音楽グループ「CASINO」結成、音楽活動を開始。
1998年「Joy(Jaye's mass choir)」でCDデビュー。
2000年からは「大西ユカリと新世界」名義で活動。力強くソウルフルな歌声に、ブラックミュージックと昭和歌謡を融合させた独特の世界観で注目を浴びる。
2009年 ソロシンガーとしての活動を開始。
デビュー20周年に当たる今年は、自らのルーツとなるソウル・ナンバーをカバーしたアルバム『BLACK BOX』を発表。甲本ヒロト（ザ・クロマニヨンズ）、山崎まさよし、中田亮（オーサカ＝モノレール）など豪華な共演も楽しめる。

道頓堀 街づくり情報

道頓堀をブランドとして発信する。街の価値を高める道頓堀スクエアの挑戦。

「食とエンターテインメントのまち・道頓堀」の情報発信＆交流拠点「道頓堀スクエア」。6月1日にオープンして早や4カ月、どのような利用があり、どのようなニーズが見えてきたのだろうか？国際的な観光地としてどのように災害に向き合うかも課題として浮かび上がってきた。安心・安全な街、楽しい街としての価値を高めるために何をすべきか、株式会社 JTB 西日本インバウンド部の営業開発プロデューサー、大迫義矢さんにお話を伺いました。

◆『道頓堀スクエア』とはどんなところ？

●House，Pocket's，Boxの3つの劇場「道頓堀ZAZA」と食べ物の持ち込みができ、Wi-Fi環境も提供しているカフェとインフォメーション「TONBORI BASE Cafe&Info」で構成されています。

●「TicketsToday」ブースを設置。公演日の近いチケットをお得な価格で手に入れられるサービスで、クレジット決済、アリペイや銀聯カードにも対応しています。演劇、ライブから野球のチケットまで毎日扱うチケットの種類は変わります。

●デジタルインフォメーションボード「トンボリグラフィー」。

道頓堀をイラスト風に描いて親しみやすい画面にしています。様々な店の情報や、QRコードを使ったクーポンサービス、道頓堀の豆知識がちりばめられた、世界に1台のもの。今後さらに情報機能を充実させていく予定。

▲インフォメーションスタッフのファビアンさん（左）アドリアンさん（右）。
ファビアンさん「グリコの看板は有名ですから、ご案内することが多いですね」。

▲Tickets Todayコーナー

▲タッチで様々な情報が見られる。名物オーナーの画像も…。

▲訪日客向けのナイトクラブを周遊できるパスはインフォメーションでも販売中。

▲道頓堀の歴史も多言語に対応。

——利用の状況はいかがでしょうか？

1日4000～5000人ほどですが、実は利用者のほとんどが日本の方なんです。なかなか外国の方が地下まで下りてきてくれないのが現状です。まだまだ認知不足ですね。

道頓堀はたこ焼きなど、手軽に食べられる物が多い一方で、すわってゆっくり過ごせる場所はあまりない。ここの存在を知っていただければ利用は増えると思うのですが……。

Baseには基地という意味もあります。観光客にとっての「つのタッチポイント、拠点になればと期待しています。

この夏、関西国際空港で「うちわ大作戦」として、ドリンクサービスとGOTTAが見られる特典の付いたうちわを4万枚配布したのですが、回収率は2%、この手のPRとしてはまずまずの出来でした。

▲広々とした空間でゆっくりできる。

——長く旅のお仕事に携わって来られた中で、街の価値をあげるとはどういう仕事になるのでしょうか？

元々関西のJTBには「サンライズ」という欧米からの京都旅行に特化したブランドがあります。その関係で今でも西日本インバウンド部は京都にあるのですが、こうやって道頓堀に拠点を持てたことは大きな意味があると思います。

JTBでは旅行を「交流文化産業」と捉えています。特に道頓堀は物販中心の街ではありませんから、街そのものの価値を高めていくことは、戦略的にも大切になってきます。

以前担当していた企業に山崎製パン様がありますが、関関同立の学生とコラボして、それぞれの大学の「ランチパック」を一緒に企画したことがあります。同志社大学では創設者の新島襄の好物だったおしるこをぜんざいとして中に入れた「ぜんざい風味」を商品化したところ、ランチパックの人気ランキングでも上位に食い込むほどに。

大学近所のコンビニでも売れるし、商品を見かけたその大学のOG・OBも「おっ」と思って買ってくれる。大学のアピールにもなるしで、ヒット商品になりました。

こういう企画が事業化できると、旅のプランを売る、という旅行代理店としての機能だけではなく、企業や街を結んでそれぞれの価値を高めていく、そういう文化事業的な仕事になっていく、そう思っています。こういう発想で道頓堀でも何かできないか、と考えているのですが……。

——道頓堀のこれからの課題について

観光化が進む一方で、台風21号の影響で関西国際空港が機能しなくなると、街から観光客が姿を消してしまうという事態になりました。

あの台風の日にシャッターを半分だけ開けていたら、旅行者の方が来られたので、入ってもらいました。旅行者には台風の怖さがわからないし、不安になってしまう。安全情報を早く届けることが必要だと感じました。

東京は高層ビルが多いので、防災ビルとして備蓄など災害に対応しているところが多いのですが、大阪はまだ少ない。道頓堀が世界的な観光地となった今、安全対策施設の整備も必要になってくると感じて、早急な対応を考えています。

あとは喫煙マナーですね。海外の観光都市では禁煙の規制がたいへん厳しいので、タバコを吸う人のイメージは良くありません。喫煙ブースで明確に分煙を図るなど、禁煙エリアを基本として考えていく必要があると思います。

▲西日本インバウンド部の営業開発プロデューサー大迫義矢さん。